



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2010~2011)

- 国際協会会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』
藤井 寛敏 (東日本区 東京江東クラブ)
 スローガン 『Build a Bridge to the Future』
 「明日《あす》への橋を架けよう」
- アジア地域会長** 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』
高田 一彦 (東日本区 横浜クラブ)
- 西日本区理事** 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』
 「Forward with Y's men's spirit in our hearts」
仁科 保雄 (京都キャピタル)
 副 題 『Let's meet challenge with calmness』 「泰然自若の精神で」
- 六甲部 部長** 『Show Y's care, Sow the seed of Y's』
安行 英文 (さんだクラブ) 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」
- 西宮クラブ 会長 馬場 一郎** 『交わりを大切に、クラブライフをエンジョイしよう』
 「Let's enjoy our club life through friendship!」

2010年10月

749号

64期4号

since 1948.5.17

スポンサークラブ
 大阪クラブ
 DBC 締結
 近江八幡クラブ
 広島クラブ

クラブ主役員

会 長 馬場 一郎
 直前会長 浅野 純一
 副 会 長 清水 彬久
 書 記 廣瀬 一雄
 書 記 阪根 新
 会 計 岩田 健司
 会 計 足立 康幸
 監 事 藤原 百合子
 担当主事 三島 浩司
 六甲部監事 山口 政紀
 部広報主査 浅野 純一
 区次期交流 廣瀬 一雄

2010年10月 西日本区強調ポイント “ BF ” BFは、世界のワイズメンが同じ条件で参加できる事業です。使用済み切手の整理作業をしながら国際舞台の夢を語りましょう。 **杉浦 英ファンド事業主任 (奈良クラブ)**

2010年10月第1例会のご案内

今月のテーマ: 『第27回西宮YMCA・西宮YMCA
 保育園カーニバル』

日時: 2010年10月17日(日)

場所: 西宮YMCA・西宮保育園

ドライバー: 馬場貴英メン、岩田健司メン

集合時間 9:00

日時 10:30~14:30

役割 カレーショップ、蚤の市

準備 前日午後1時より値付け他

其他 蚤の市商品のご寄贈ご協力をお願いいたします

カーニバル実行委員長: 馬場貴英メン

今月の聖句

『「主よ、わたしはあなたに感謝します。あなたはわたしに向かって怒りを燃やされたがその怒りを翻し、わたしを慰められたからです。見よ、わたしを救われる神。わたしは信頼して、恐れぬ。主こそわたしの力、わたしの歌 わたしの救いとなってくださった。」あなたたちは喜びのうちに救いの泉から水を汲む。』

イザヤ書12章1~3節 清水彬久メン 選

9月 例会出席状況	在籍会員数	19名
第1例会(9.17金)	第2例会(9.3金)	
メ ン 18名	メ ン	8名
メネット 2名	メネット	0名
ゲスト・ビジター 1名	ゲスト・ビジター	0名
合計 21名 make-up 1名	合計	8名
出席率 100.0%		

ファンド・BFの累計

	9月	累計
ニコニコ ファンド	4,402 p	12,329p
Brotherhood Fund	5,100 p	10,500p
使用済み切手	180 g	180g

Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

10/9 廣瀬 敦子メネット

会長メッセージ

馬場 一郎 会長

9月例会は神戸YMCA総主事、水野さんをお招きし、お話を伺いました。YMCAへの支援はどうあるべきか。西宮ワイズの活動を再度考えるスタートの会になれば、との思いがありました。いかがでしたでしょうか。私はまだ、よく見えません(いや、見えたらすごいことでしょうね・・・)。ただ、やはり、みなさんの熱い思いはよくわかりました(わかっていました)。

一人ひとりにとってのYMCA支援、ワイズ活動があってもいいなあ、ということと125周年に向けて思いを重ねることを考えた9月例会でした。ありがとうございました。

9月 例会 報告

ドライバー 丸山 悦治メン
濱 浩一メン

9月第1例会は、水野雄二総主事をお迎えし、『神戸YMCA125周年、過去・現在・未来』についてお話し頂きましたが、現在については余り触れられずに神戸YMCA創立から黎明期と西宮のスタッフ時代を懐かしくお話しされました。

1886年(明治19年)神戸基督教徒青年会(YMCA)発会式に始まり、青年会、英語学校、教会を通じてYMCA運動は脈々と受け継がれ、1902年(明治35年)会館建築計画が策定され、募金活動が開始。1907年(明治40年)ヴァーリング・ウィンチェル・ヘルム氏が神戸YMCA土地購入援助に派遣され、血の滲むような募金活動の末、1913年(大正2年)に第1期会館が完成し、現在の会館は第4期となる・・・。

お話の後、神戸YMCAの現状の課題や運営方法についての質問やら心配が次々に飛び出し、

西宮クラブらしい雰囲気の例会となりました。

その後、125周年記念事業への協賛要請(長井実行委員長)、西宮Yファミリープログラムへの協力金を野村主事へ(馬場会長)、西宮Yカーニバル(馬場(貴)実行委員長)、神戸Yチャリティーゴルフとじゃがいも&かぼちゃ(濱ファンド委員長)等のお知らせがあり閉会となりました。

7月に続き今年度2回目の100%達成(メークアップを含む)の例会となりました。

六甲部会に参加して

山口 政紀メン

さる9月11日(土)、第9回六甲部会(安行英文部長)が「ホテルフルーツフラワー」を会場に好天のなか、130余名の参加(部会参加者としては過去最多数?)で開催されました。西宮クラブより16名の多数の参加でした。



安行英文部長の点鐘で開会

今回の部会の特徴は幾つありますが、1)今期最初の部会開催、2)西日本区役員を含めて60名を超える六甲部以外のゲスト参加、3)今期理事の仁科保雄メン輩出の京都キャピタルクラブより13名の参加、4)DBC 締結が瀬戸山陰部米子クラブと神戸ク

ラブでなされた。5) 第1回の部会をさんだクラブが担当され、一巡した今回は松本文男元部長の司会、そして礼拝の司会は松本美耶子メンのおしどり司会でした。6) 最大の特徴は礼拝でのダブル奨励、これはさんだクラブメンバーの二人の牧師でした。

礼拝の奏楽を担当くださった「ベルコンチェルト」は1998年結成のイングリッシュハンドベルのチームで安行部長の暁子メネットも演奏されました。奨励して下さった近畿福音ルーテル教会三田北摂教会牧師の末岡茂夫メンは「愛はすべてを完成させるきずなです」と題して、また日本フリーメソジスト教団三輪教会牧師の馬場一朗メンは「神様の選び」と題してともにキリストの愛と平和の奨めをされました。

YMCA 理事長の武田寿子メン(宝塚クラブ)はご挨拶の中で二つの奨励に感謝されるとともに当分の教会礼拝の出席分が満たされましたと語られた。

パネルディスカッションの「神戸 YMCA タイワークキャンプ 過去・現在・未来」はこの春参加したリーダーと先輩参加者によるホットなお話が時間の関係でほとんど聞けなかったのは残念でしたが永井道子スタッフよりこのプログラムの歴史を良い準備で充分聞けたことは感謝でした。



ベテラン主婦の「サマンサ」による懐かしいジャズコーラスコンサートはベテラン主婦の「サマンサ」による懐かしいジャズコーラスでメンバーの日高眞

理特別メネットとその仲間の熱演でした。

和やかな懇親パーティーは食事也十分でしたが、8名参加の近江八幡クラブの面々の多くは宿泊の有馬温泉に向けて後ろ髪の手いで途中で退席されました。

設立17年の孫クラブ「さんだクラブ」のますますの発展を願いつつ盛会な部会を楽しみました。

六甲部会メネットアワー に参加して...

宮地特別メネット

9月11日(土)ホテルフルーツフラワーで六甲部会メネットアワーが部会に先立ち71名と多数の参加者で盛大に開催されました。講師は 家庭養護促進協会事務局長 社会福祉法人・神戸YMCA福祉会・理事 という肩書をお持ちの 橋本明様、

テーマは <親と子ども、家族>

現在の社会の中で子供達がどのような状況の中に置かれ、又 育てる大人達の間になんか問題があるのか、そして私達に出来る事は何か等、里親運動から見える親子の問題・家族の問題についてお勉強させて頂きました。親が 自分の子を育てられない要保護児童が増加する一方、全国で約3万8千人(平成20年3月31日現在「福祉行政報告例」より)もいるそうです。

従って、家庭で育てられない子供は保護者から離れ、児童相談所を経て、里親・乳児院・児童養護施設・その他等で生活しているのですが、其の数約4万人にも上るとの事です。里親制度の中に ボランティア里親と言うのが有ります。

季節里親（正月と夏休みに子供を迎える）
週末里親（月に1・2回週末に子供を迎える）
といった形で行われているそうです。

昨今マスコミを騒がせています児童虐待とは、
身体的虐待

親としてしてはいけない事
性的虐待

親としてしてはいけない事
心理的虐待

親としてしてはいけない事
ネグレクト

親としてすべき事をしない

と言う事を言います。等等

時間が少ないと言われながら、13時45分定
刻に講演を終了されました。

西宮クラブからは 浅野・山本・小野・長井・
馬場・山口・岡田・濱・広瀬・の各メンと山本・
山口・岡田・濱・広瀬のメネット 宮地特別メ
ネット総勢15名で参加しました。

ファミリープログラムの報告

浅野純一メン

9月23日の秋分の日祝日に「ファミリー
スマイルクッキング」と題して、西宮YMCA
のファミリープログラムが行われました。当日
の朝雨が降り出しました。この雨で熱帯夜から
急速に冷たい空気が入り込み、まさに季節の変
わり目の一日でした。従って、予定されていた
甲山キャンプ場での野外料理から西宮YMCA
で「炊き込みご飯、ホイル焼き&豚汁」をつ
くるプログラムに変更されました。

YMCAでのプログラムは、17家族52名
の多くの参加を頂き、大変盛り上がりました
（全参加者は76名）。初めの家族紹介では、
各家族のいまはまっているものを楽しく聞
きました。そして、各班にわかれての食事です。

調理は子どもたちがはりきって行っていま
した。鍋でご飯を炊きましたが、私はあまり
経験がなかったのですが、上手に炊けて大変
おいしく頂きました。炊き込みご飯のお焦げ
は最高でした。また、鮭は骨をぬいてありま
した。保育園の方が業者さんに依頼して頂い
たそうです。

食事の後はゲームの時間、じゃんけん列車、
スプーンリレーなどで楽しみました。YMCA
に変更してのプログラムはとくに準備が
大変だったと思います。スタッフ、大学生の
リーダーに感謝致します。



西宮YMCA内での楽しいお料理プログラムのひと時

なお、ワイズから浅野、岩田、堤、廣瀬、
山本の各メンが、そして長井メンはファミリ
で参加されました。ご苦労様でした。

西日本区だより③

2011~12 交流事業主任 廣瀬一雄メン

9月11日（土）さんだクラブが主管の第
9回六甲部会が神戸フルーツフラワーパーク
で開催されましたがその報告は山口政紀ワ
イズにお任せするとして、懇親会の次第の中
でDBC締結式が執り行われました。
瀬戸山陰部の米子クラブと六甲部の神戸クラ

ブが仁科理事、平野交流事業主任と両部の部長、交流事業主査および両クラブ会長、メン、メネットの出席のもと締結式が執り行われました。



懇親会場での米子・神戸クラブDBC締結風景

9月12日(日)には京都リーガロイヤルホテルで京都部会が午後開催され、足立メンと廣瀬が参加いたしました。当日の午前には当ホテルにて浅岡次期理事キャビネットと事業主任の第二回の役員会があり、次期理事の活動方針案が示されました。

9月25日(土)福山YMCAと福山ニューキャッスルホテルで第9回西中国部部会が開催されました。当日私はメネットと参加いたしましたが、そのレポートはもう一人の西宮からの参加の小野メンにおまかせ。



第1部祈念式典終了後の福山YMCA2階チャペルでの岡山クラブ・福山クラブとのDBC締結風景

瀬戸山陰部の岡山クラブと西中国部の福山クラブが理事、交流事業主任、多数の立会いのもととりおこなわれ、9月での2度目のDBC締結式となりました。

部会は三部懇親会アトラクションの後、第四

部フェロシップアワーまでありましたが、途中平野交流事業主任より臨時の交流委員会の申し出があり、谷本直前主任と現、次期の3名で懇談・協議の場を持ちました。

西中国部会つらつら

小野 勅紘メン



福山駅下車すぐ北に福山城が隣接する

福山駅を下車してすぐ北側に福山城が凛々しく聳える駅前に、「奉仕で造ろう。美しい街、福山」という石碑。広島クラブの藤川会長から「福山城主は、譜代だったので大切にされたのですよ。」と。西は県立広島博物館で、ゆっくり見てみたいものだ。

さて、目まぐるしく駆け回った昨年とは違い、今期はホームクラブの六甲部会とDBCの「西中国部会」と「びわこ部会」に絞った。9月25日(土)12時、駅から歩いて5分位の福山YMCAには既に115名満員のワイズメンたちが集まっていた。

第一部は式典・礼拝。涙もろい桑田隆明西中国部部長の開会宣言・点鐘からもう涙交じり。来賓、役員紹介の後、仁科理事が「飛翔とう ワイズスピリットを胸に」を熱く訴えられた。そのあと前期広島西クラブ立上げに尽力の広島西クラブの山野進会長に国際アワード「ブースター賞」が授与され、評議会の報告で終了した。

第一部・第二部との休憩時間に別室で「岡

山クラブ」と「福山クラブ」のDBC締結式があり、参加した全員が色紙にサインして終了した。

第二部はゲスト荒川純太郎先生による「Y'sとの私のセルフチェックを」と題しての記念講演。荒川先生は関学神学部を卒業後、マレーシアのサラワクの少数民族イバン人の自立支援に関した後、



広島牛田教会牧師を経て、現在は甲山教会牧師の傍ら、広島大、広島女学院大などの講師やNGOボランティアで活躍。現在、ワークショップを共同主宰の「地球市民共生塾」のファシリテーターの経験やワークショップの実例をお話された。

我々は「見える一部（ミクロ）」に惑わされず、「見えない全部（マクロ）」的視野で「地球規模で考え、足元から行動することで、個々人が変わること。」見方によっては別な思惑が生まれる。固定観念に捉われないこと。（逆さ世界地図）対立から他者との関係を修復する方法として、指示・競争、協働、妥協、受容、回避、援助を上げて、その組合わせで対処出来ることから、KY（空気が読めない）JY（状況を読む）ように勧められた。

第三部の懇親会は会場を駅南の福山ニューキャッスルホテルに移し持たれた。のっけに「福山大学三蔵太鼓を打つ会」の勇壮な和太鼓の響きに切れを感じた。またまた桑田西中国部長の涙もろい挨拶と谷本次期西中国部長の乾杯でパーティが始まった。広島YMCAの留学生のカンラクさん（中国）の二胡演奏、オムさん（タイ）の民族舞踊が披露された。最後は恒例の坂本千春メネット主任の国内事業「豊島神愛館」支援のファンド、次期西日本区大会、西日本区EMC2000推進チーム、直前鈴木理事キャビネットも登壇し、前期のご支援への御礼が鈴木直前理事よりあった。西宮クラブからは廣瀬メン・メネット、小野の3人が出席した。

新シリーズ

神戸YMCA創立125周年記念事業を成功させよう

125年を振り返って

（その3）

125周年記念事業実行委員長

長井 慎吾メン



125周年に際し活動の原点を振り返るため、神戸YMCA125年の先達の偉業をレビューすることとしました。

第三回は昭和初期の経営苦難についてです。西宮クラブ9月例会で水野総主事より神戸YMCAの歴史、現状と課題について講話を頂き、クラブメンバーから特に財政課題改善への積極的な意見交換がなされました。

このような経営の苦難はいくども繰り返されたことでしょう。神戸とYMCA百年の第5章「昭和初期」の神戸YMCAの一節によると、当時の日本は、明治や大正期の文化と比

べると、大戦突入の時代となり、国内では農業部門に世界恐慌のあおりを受けて深刻な不況状態が続いていました。このような中にあっても神戸キリスト教青年会は国際文化の窓を最後まで閉じまいと頑張っていました。他方で経営は望ましくない方向へと進んでおり、それは、開設する外国語学校などの生徒の減少です。

1929年の英語科は1340名が3年後には約半分に、普通部商業科は、502名が84名に激減します。1931年には商業学校は困難となり、32年より高等予備校、外国語学校も困難に、自動車学校は1930年に止めています。

青年会経営のやりくりは表面の文化、市民政治や福祉とキリスト教の事業を支える使命にもえるだけ、苦しみの中にありました。

そのような中で、第二代森田金蔵理事長は経営感覚も厳しく、すぐれ、主事たちを指導されました。当時の総主事奥村龍三によると、「財政不況による収入減と昼間商業学校のストライキ（中略）窮余の末森田さんの肖像画を毎日持って神戸市内を注文取りに歩いた。云々」と回顧する。このような恵まれた人材が困難な時期に与えられていたことは今日の神戸YMCAの「元気」となって生きている。とあります。いく度と困難な状況にあっても苦心して乗り越えてこられた先達の意味を受け継ぎ、現在の困難もスタッフ、レイパーソンが協力しあって乗り越えていかねばなりません。

リーダー会だより

西宮宝塚YMCAリーダー会 栗原 直子 さん
いつもリーダー会のことを温かく見守り、支えてくださりありがとうございます。

9月は、1日に芦屋浜で朝6時から釣りのリーダートレーニングをしました。釣り竿の組み立て方やさびきのつけ方などをディレクターや経験者が伝え、グループに分かれて釣りました。

これが生まれて初めての釣りだった私はさびきの付いた釣り竿をうまく扱えなかったり、釣れても勢いよく動く魚が怖くてなかなかつかめなかったりして、釣れるまでに時間がかかり、釣れても大変な思いをしました。腕が疲れて飽きるほどよく釣れた人もいたし最後まで釣れなくて悔しい気持ちで終わった人もいましたが、全員で調理して食べたおいしい唐揚げでみんな笑顔になりました。私は子どもたちが釣りをする中で感じるであろう様々な気持ちを自身の体験から想像することができ、この日のリーダートレーニングは子どもたちと釣りをする前のいい準備になりました。私はサッカーのリーダーもさせていただいて、9月から2期が始まりました。子どもたちは夏休みをはさんで背も伸び、体だけでなく心も頼もしくなってきました。そんな子どもたちと、これからは一緒になって楽しみながらも時にはリーダーとして導いていけるようになろうと思います。

ワイズメンズクラブの皆様、いつもリーダー会のことを温かく見守り、支えてくださりありがとうございます。ますますリーダー会が生き生きと輝いていけるよう頑張りますので、これからも応援よろしく願いいたします。



西宮YMCA 三島浩司メン

キャンプを始め、夏のプログラムが大きな事故もなく全て無事に終了いたしました。ご支援ありがとうございました。9月に入り、まだまだ厳しい残暑が続く中、西宮YMCA保育園では8回目となる「運動会」を近隣の森具公園で行いました。在園児68名、1名も欠けることなく、全園児揃っての運動会となりました。当日は朝早くからリーダーOBORGが会場設営の準備に駆けつけてくださったり、会場となった森具公園を地域の方々が利用させてくださったり、また、終了後の片づけでは、多くのお父さんたちやおじいちゃんたちがテントの撤収を手伝ってくださったりと多くの方々に支えていただいた運動会でした。子ども達もそれぞれの年齢に合わせ、親子での触れ合い遊びや玉入れ、リレー等々でそれぞれの成長振りを披露した1日でした。



運動会恒例の紅白玉入れ



最後は皆でアヒルのダンス

また、9月23日には、西宮YMCA恒例のファミリープログラムを行いました。今回は甲山キャンプ場での野外料理を予定していましたが、当日は朝からあいにくの雨模様。西宮YMCAや西宮YMCA保育園の屋内での活動となりましたが、17家族、49名の参加者とリーダー、職員、ワイズメンが一緒になって「炊き込みご飯」「ホイル焼き」「トン汁」を作って舌鼓を打ったり、ゲームをしたりして楽しい交わりのときを持つことが出来ました。朝一番は、リーダーから子ども達への「紙芝居」のプレゼント。その後、各家族のユーモアたっぷりの自己紹介に続いてメインの料理作り。小さな子ども達も含め、お父さんやお母さん達が奮闘(?)してくださり、とってもおいしい料理が出来上がりました。そして料理の後は、また皆でのお楽しみの時間。大人も子どもも入り混じっての「じゃんけん列車」や「スプーンリレー」を楽しみました。

最後はみんなそろっての記念撮影。出会いと交わりにを存分に楽しんだ一日となりました。当日ご参加、ご支援くださった浅野メン、岩田メン、堤メン、廣瀬メン、山本メンを初め、ファミリープログラムをご支援くださった西宮ワイズクラブの皆様、ありがとうございました。



じゃんけん列車誰が一番強い?



みんなそろって「ハイ、ポーズ!」

今後の予定

1) 秋の幼稚園・保育園運動会

YMCA 保育園 10月 9日(土)

西神戸YMCA 保育園 10月 9日(土)

是非お近くの幼稚園、保育園の運動会をご覧ください。西宮YMCA 保育園は森具公園にて行います。

2) 秋のバザー・カーニバル

西宮 Y カーニバル 10月17日(日)

学園都市 Y わいわい祭り 10月17日(日)

三宮 Y 国際バザー 10月24日(日)

西神戸 Y 幼稚園バザー 10月30日(土)

三田 Y 地域オープンカーニバル 10月31日(日)

六甲部各クラブがそれぞれのバザー・カーニバルでご奉仕くださいます。是非お出かけください。

3) 第23回チャリティーゴルフ

日程：10月20日(水)

場所：キングスロードゴルフクラブ
(三木市吉川町前田)

参加費：20,000円(予定)

申込：神戸YMCA本部事務局へ
TEL：078-241-7201

4) 第13回神戸YMCAチャリティーラン

日程：11月3日(水・祝)

場所：しあわせの村(神戸市北区)

参加費、申込方法等の詳細は、パンフレットをご覧ください。

西宮YMCA保育園だより

三島 浩 司メン(保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより9月号より)

9月の主題: いっしょに

8月は、子ども達が大好きな「プール遊び」を楽しみました。お家のお風呂では顔に水がかかるのを嫌がる子ども達の中には、保育園のプールで友達といっしょにしていると水がかかっても平気な顔をしている子どもがいます。「いっしょに」というのは子ども達の成長に大きな助けとなっているように思います。9月は運動会。8月のプールでの「いっしょに」はお友達の様子を見ることで励まされるといったものですが、9月の運動会の「いっしょに」は、「共に力をあわせて」といった面が大きくなります。すみれ・ゆり組の子ども達の「パラバレーン」はその典型のように思います。一人一人の力をあわせ、一つの大きなもの「演技」を作り出していく。その過程で、子ども達は仲間や先生達と様々な「駆け引き」を行い、「一人ではない」ということを体験していきます。このように、運動会を通して子ども達は、チームとして動くことの手をつけて行きます。9月の運動会は、我が子の活躍だけではなく、是非、チームとしての活躍を見ていただければと思います。神様が子ども達ひとりひとりに与えてくださった様々な「賜物」。それぞれの「賜物」をある時には自ら出したり、またあるときには友達から引き出してもらったり。子ども達のそれぞれの「賜物」が見事に組み合わせさせてすてきな「パッチワーク」をお楽しみいただければと思います。

1953年夏、神戸YMCAの余島キャンプ場において日本で最初の「肢体不自由児キャンプ」が行われました。このキャンプに関わった方の一番の苦労はキャンパーの確保でした。この時代、まだまだ社会の偏見が強く、障がいのある子どもがいることさえ隠している状況でした。これらの家を一軒一軒訪ねて回り、ようやくキャンプを行うことが出来たそうです。こうして準備から実施まで様々な苦労を乗り越えて行われたキャンプに参加した子ども達、また、子ども達を支えて青年達の中から弱い者に仕える多くの指導者が育っていかれました。

イエス様の言葉に従い、危険、困難を乗り越えて沖に出たシモンは多くの魚を獲ることが出来ました。この後、シモンは、イエス様の弟子として弱い者に仕える「人」を獲る漁師になったのです。一人でも多くの方が、イエス様の言葉を信じて、弱い者に仕える「人」を獲る漁師になることを願って、子ども達と共に一日一日を歩んで行きたいと思えます。

9月聖句: 沖に漕ぎ出して網を降ろし、
漁をしなさい。

(ルカによる福音書5章4節)

音を重ねる日々は心を重ねる日々=46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム
LOVE 代表ひがしの ようこさん
音を重ねる日々は心を重ねる日々
- 46 今月もお休み
演 浩一メン

第29回定期演奏会のお知らせ

2010年11月7日(日) 入場無料

開場: 午後1時 開演: 午後1時半

会場: 神戸市・東灘区民センター「うはらホール」

ワイズニュース 馬場 一郎 会長

1. ジャがいもは搬入日10月8日(金)
18:00予定。配送10月9日(土)、
10日(日)です。
宜しくご協力お願いします。
2. 10月例会はカーニバルです。事前準備
10月16日(土)13:00から、当日
10月17日(日)開会礼拝9時です。
蚤の市、カレー、よろしくご協力下さい。
3. 11月3日(祝)はチャリティーラン
です。今年は絶対優勝目指すぞ!

水の流れるまはに34

(俳句) 山野 直行(小野勅紘)

・消え入りし ^{ひぐらし} 蝸 啼きて 風立ちぬ

(「風立ちぬ」と言えば堀辰雄が百恵ちゃん。猛暑の中でそんな一塵の爽やかな風が頬を撫でていくという秋の兆しはついぞなかった。しかしそんな風が立つ頃には「蝸(ひぐらし)」が「かなかなかな」と啼いて語尾は消え入りそうな哀しさを残して秋はもうそこまでやって来ている。早く来い来い秋…)

・水の鉢 ^{あまつよしば} 天つ 霞張り 映し出し

(京都は南禅寺にある別荘群の中の一つに清流亭何有荘という建物がある。その中庭には縁側から見張らせる池があり、その水を引いた水鉢がある。窓が放たれた別荘の天井は琵琶湖の葎で葎かれていて水の鉢の波たつ様子が天井に映し出されて、ゆらゆらと風情がある。爽やかな風が吹くたびにその様子は別荘の風物詩となっている。塚本与三次という人の別荘であったが今は小沢邸になっている)

・ 鐘の音 遠きにありて **晩夏**なる

(遠くで響くお寺の鐘の音は秋の兆しを思わせ侘しい。特に夕暮れ時と鐘の音は定番である。ますます惜しみ行く晩夏の趣きである)

(近2ヶ月の予定表) 小野マンの力作です

≪今後の予定≫			
10月(フライバー: 別荘、馬場倉)		11月(フライバー: 津水、建園)	
日	曜	日	曜
1	土	2	火
2	日	3	水
3	月	4	木
4	火	5	金
5	水	6	土
6	木	7	日
7	金	8	月
8	土	9	火
9	日	10	水
10	月	11	木
11	火	12	金
12	水	13	土
13	木	14	日
14	金	15	月
15	土	16	火
16	日	17	水
17	月	18	木
18	火	19	金
19	水	20	土
20	木	21	日
21	金	22	月
22	土	23	火
23	日	24	水
24	月	25	木
25	火	26	金
26	水	27	土
27	木	28	日
28	金	29	月
29	土	30	火
30	日	31	水

メーカー等にご活用下さい

編集後記 プリテン委員長 山本 常雄

- ・ またまた遣りましたね。馬場会長3ヶ月で出席率100%を2度達成です。この調子で皆さん馬場会長を支え、楽しい例会を重ねましょう!
- ・ 季節の変わり目で体調不良の方も多いのではないかと心配します。睡眠中の体温確保に十分留意して、秋の夜長を楽しむ前に夏の疲れを早く取り除きましょう。
- ・ 実りの秋、YMCAの秋、ワイズの秋の到来です。じゃがいもファンド、西宮カーニバルチャリティラン等々イベントが盛りたくさんですが、メネットの皆様にもご協力を得て、成功裡に進めて行きたいと思ひます。